

令和2年度幼児教育研修会 実施要項

- 1 趣 旨 幼児教育に関わる指導者等を対象とし、幼児教育に関する見識を深め、実践的指導力を高めることを目的とした研修講座を実施し、その資質向上を図る。
- 2 主 催 県立こどもの館
- 3 後 援 兵庫県教育委員会
- 4 対 象 幼児教育・子育て支援指導者、児童健全育成関係者等
- 5 内 容 別紙「令和2年度幼児教育研修会講座一覧」参照
- 6 申込について
 - (1) 受講料 無料
 - (2) 申込方法 インターネットによる申込み
 - ア 県立こどもの館HP (<http://kodomonoyakata.jp/>) を開き、講座案内の「幼児教育研修会」から PC またはスマートフォンにてお申し込みください。
 - ※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、定員や実施内容、実施方法等に変更が生じる可能性がありますことを、ご了承ください。変更については、メールでお知らせしますので、申請時にメールアドレスを登録してください。
 - イ インターネット等環境のない方は、県立こどもの館までお問合せください。
 - (3) 申込締切 各講座開催日の10日前まで
(ただし定員になり次第、締め切ります。)
 - ※ 定員超過により受講できない場合は、メールで連絡します。
 - (4) 特別警報発表等非常時の対応について
 - ア 研修実施日の午前6時に、特別警報（大雨、防風、暴風雪、大雪等）や特別警報に位置づけられる津波警報等が兵庫県内に発表されている場合等は、研修を中止する場合があります。HP上にご登録いただいたメールアドレスにて連絡します。
 - イ その他の警報や自然災害等が発生した場合の受講については、所属長の指示に従ってください。
 - (5) 問合せ先
県立こどもの館 指導課（担当 上山）
〒671-2233 姫路市太市中 915-49
TEL079-266-3169 FAX079-266-4632

令和2年度幼児教育研修会 講座一覧

回	日程	研究主題	講師	会場	定員
1・2	10月3日(土)	10:00～12:00 【心身の健康に関する領域：健康】 【身近な環境との関わりに関する領域：環境】 〈午前〉講義：子どもの意欲を高める運動遊び～自己肯定感の育て方～ 13:00～15:00 〈午後〉実技：運動遊び作成のコツとヒント	大阪青山大学 健康科学部 教授 村田 トオル	加古川市立総合体育館 コミュニティアリーナ	120
	内容	<午前>講義：運動遊びは体力向上だけでなく、心の成長にも大きく貢献します。体を動かすことにより、心が成長していく過程をわかりやすく解説します。 <午後>実技：明日からの保育にすぐに取り入れられる運動遊びを実際に体験します。そして、同時に作成のコツを学びます。 発育発達を考慮した運動遊び（ボール・かけっこ・サーキット）を保育者の関わり方の視点から解説を交えながら進めます。 【準備物】 筆記具、運動できる服装（スカート不可）、室内シューズ、※更衣室有			
3・4	10月11日(日)	10:00～12:00 【感性と表現に関する領域：表現】 音楽あそび「子どもの意欲を引き出す音楽遊び・表現遊び～協同する心を育むために～」 13:00～15:00	京都ノートルダム女子大学 現代人間学部 准教授 植田 恵理子	兵庫県立姫路労働会館 多目的ホール	100
	内容	子どもたちの興味・関心を大切に、協同して意欲的に取り組んでいけるような音楽活動を考えていきます。「手遊び」から、かかわりを大切にしたい表現遊びへ、歌詞の意味を考える「相槌うた」・「即興ミュージカル」、読み聞かせを園児参加型にする「音の絵本」の方法などを体験します。 【準備物】 新聞紙見開きの半分（広告紙でも可。B4以上の大きさで破りやすいものであれば何でもよい。）、音の出るもの（できるだけ楽器にこだわらず、面白いと感じる、音が出るもの。なければカスタネット、すず等の楽器も可。）、動きやすい服装、筆記用具、※更衣室有			
5	10月18日(日)	10:00～12:00 【心身の健康に関する領域：健康】 子どもの発達特性・児童虐待 「被虐待児の行動について」 13:00～15:00	関西福祉大学 社会福祉学部 教授 佐伯 文昭	兵庫県立のじぎく会館 大ホール	100
	内容	虐待を受けた子どもは、保育所や幼稚園で親が迎えにきても帰りがたがらない、友達を求めない、友達を叩く、激しい癇癪を起こす、保育者との関係が深まらないなどの特徴があり、さまざまな不適応行動を示します。なぜ、そのような行動を示すのか、愛着形成の視点から考えます。			
6	10月18日(日)	13:00～15:00 【言葉の獲得に関する領域：言葉】 絵本から広がる子どもの世界 ～絵本の読み聞かせからあそびを通して育む表現力と創造力～	NPO 法人 アトリエ・ペタタ 理事長 石橋 幸子	大ホール	100
	内容	子ども達に寄り添う絵本の選び方、読み聞かせのポイント、絵本の持つ本来の役割をたくさんの絵本と共に学びます。また、日々の暮らしへと関連付ける方法や子ども達の表現力・創造力を育む様々なあそびへ発展させる方法を、体験的に学習します。 【準備物】 筆記用具・はさみ			

7・8	10月25日(日)	10:00 ～ 12:00	【人との関わりに関する領域：人間関係】 発達障害の子どもたちの困り感と 支援の実際～発達を促す遊びや活動～	株式会社 アニメーション プレイジム 代表 太田 篤志	兵庫県立のじぎく会館 大ホール	100
		13:00 ～ 15:00	内容 〈午前〉発達障害の子どもは、「困った子ども」ではなく「困っている子どもたち」と言われています。この講座では、子どもたちが抱える困り感とその原因について、運動機能や認知、社会性、コミュニケーションなどの側面から捉え、共感的に理解・支援する考え方をお伝えします。 〈午後〉全身の運動や手先の動作のスキルを育む遊びの考え方を、ワークショップを通して体験していきます。 【準備物】動きやすい服装(スカート不可)			
9	11月23日(月・祝)	10:00 ～ 12:00	【身近な環境との関わりに関する領域：環境】 【教育・保育に関する現代的課題】 子どもの発達に応じた好奇心・探究心の育ちと資質・能力を育む保育～ これからの保幼小の接続を見据えて～	大阪総合保育大学 児童保育学部 教授 瀧川 光治	尼崎市立すこやかプラザ	60
		内容 子どもの好奇心・探究心の育ちは、今回の要領・指針の改訂で示された「幼児期に育みたい資質・能力」や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と関連が深いものです。これからの保幼小の接続を見据えて、どのように考えていけばよいかを、理論と実技を通して学びます。 【準備物】ハサミ、セロテープ、綿棒（2本程度）、ストロー（綿棒がスムーズに入る太さ、2本）				
10	11月23日(月・祝)	13:00 ～ 15:00	【感性と表現に関する領域：表現】 造形あそび・造形表現 「題材から保育のねらいを考える」	京都女子大学 発達教育学部 教授 山野 てるひ	多目的ホール	60
		内容 造形表現の保育の鍵の一つは題材研究にあります。保育者は題材のねらいを明確にし、そこで育てる資質・能力について自覚的に子どもに関わることが大切です。ここでは子どもの表現の発達を踏まえ、題材から保育のねらいを考えます。そのうえで実習を通して「紙を使った遊び」を紹介します。 【準備物】ハサミ、のり、セロテープ、色紙、画用紙 ※詳細は実施2週間前を目途にメールで連絡します。				

※ 第1・2回、第5・6回、第7・8回については、令和2年度子育て支援者等研修講座と合同となります。